



なめがわ地域 福祉支援センターHP <https://www.kokoro.or.jp/namefuku>



なめがわ地域 福祉支援センター



〒355-0811

埼玉県比企郡滑川町大字羽尾 1041-7

TEL0493-81-5101/FAX0493-81-5102



「謹賀新年」

なめがわ地域 福祉支援センター
センター長代行 兼 事務長 かねこ ひろゆき

明けましておめでとうございます。

旧年中はなめがわ地域 福祉支援センター(以下:当センター)のサービスをご利用頂き、深く感謝申し上げます。昨年を振り返りますと、8月に鶴ヶ島市で「訪問看護ステーションこころ」を立ち上げまして、一昨年の10月に「就労継続支援B型事業所第二シンフォニー」の開設に続き新規事業所をオープンする事が出来ました。約一年間という準備期間を経て、沢山の方々にご協力を頂いて無事に開設出来た事に、この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、今年2025年は国が長年に亘り推進してきた地域包括ケアシステム実現の年です。地域包括ケアシステムとは団塊の世代である高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される事を言います。当センターでもリハビリデイサービスや居宅介護支援事業所があり、利用者様の在宅生活を支える上で大切な役割を担っております。また介護保険以外の分野でも医療では訪問看護、障害福祉では就労継続B型作業所など、当センターでは様々な在宅支援サービスの実施をしております。私が考える地域包括ケアシステムは高齢者だけではなく医療、障害福祉のサービスが必要な方達も含めた包括的なシステムが必要だと思っています。なぜなら年齢に関係なく、人は誰しも住み慣れた地域、環境でいつまでも暮らしたいと思っているからです。今後も継続して市町村や県、各関係機関といった地域の方々と連携を図り、利用者様の地域生活をより良い形に出来る様、今年も職員一同努力して参ります。

また私達の生活の中で、大きな影響をもたらした、新型コロナウイルスですが、5類に引き下げられてから一年半以上の月日が経ちました。ようやくこれまでの生活が戻りつつありますが、コロナウイルスが無くなった訳ではありません。皆様には引き続き感染対策をお願いする場面がございますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

当センターは今後も利用者様の在宅生活を支える拠点として地域の皆様に愛される事業所を目指して参ります。利用者様がどうされたいか、どう在りたいかという思いをしっかりと汲み取り、自分が利用者様の立場に立った時にどう考えるか等、相手の気持ちになり真剣に取り組んで参ります。今年は巳年ですので、利用者様の皆様が巳(み)のりのある年になる様に支援させて頂きます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

■指定居宅介護支援事業所 いづみ



冬場には色々な感染症や注意する症状があります。ここでは、「隠れ脱水」について説明します。脱水は夏場にみられる症状と考える人が多いですが、冬場も起こりやすいとされています。それは冬場に空気が乾燥する事によって呼気や皮膚から水分が蒸発する「不感蒸泄」が増え、気づかないうちに体の水分が失われるからです。隠れ脱水のサインとしては、唇のかさつきや立ちくらみ、爪を押した後に3秒以上たっても爪の色が白色からピンク色に戻らないことなどが挙げられます。対策としては①こまめな水分補給②洗濯物の室内干しや加湿器を利用した室内の乾燥対策③保湿クリームの使用、が効果的とされています。

隠れ脱水がある事を意識して、出来る事から対策をしていきましょう。

介護の事でお困りのことや相談したいことがありましたら、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先: ☎ 0493(57)2226(月曜～金曜 8:30～16:30) 担当:しまだ

■特定・一般相談支援事業所 なめがわ



“一人で不安な場合は相談支援事業者にご相談してみましよう”

「障害福祉サービスの利用も含めて、障害について困ったことを相談したい」や「障害福祉サービスの手続きが複雑で、自分一人で進めるのは不安」といった場合は、相談支援事業者にご相談してみましよう。

相談支援事業者は障害を持つ人の相談に乗ってくれる事業者で、障害福祉サービスの利用や日常的な困りごとについて相談できます。指定一般相談支援事業者と指定特定相談支援事業者の2種類がありますが、「どのサービスを利用したらいいか相談したい」といった場合は、ぜひ、特定・一般相談支援事業所なめがわにご相談ください。

お問い合わせ先: ☎ 0493(53)4761(月曜～金曜 8:30～16:30) 担当:あきや

■おとなの学校 ～ 毎週水曜日に開校中～

「おとなの学校」とは学校を模した授業形式で学ぶことにより、高齢者の方々の意欲を高め、心身の活性化をはかる新しい高齢者のケアです。毎月更新される教科書を中心に、国語、算数、理科、社会、音楽、家庭科、保健、体育の教科から選択し授業を行います。

教科書で問題を解く・覚えることよりも、昔を思い出して活発に発言していただくことを大切にしています。講師も参加者の方々から貴重なお話や体験を伺い、一緒に学ぶという気持ちで教壇に立っています。



開催場所: 当センター2階 多目的ルーム

開催曜日: 毎週水曜日(祝日を除く)

開催時間: 13:30～15:00

お問合せ: 0493(81)5101

(月曜～金曜 8:30～16:30)

担当: とさか



テキスト

編集後記

西暦2000年のミレニアムイヤーと言われた時から早、四半世紀が経ちました。時が経つのは早いですね。

編集担当: かねこ

※個人情報の保護の観点から氏名の表記はひらがなとさせていただきます